

# 厚生年金基金の財政状況等

(2016(平成28)年度～2020(令和2)年度)

※ 厚生年金基金より提出された2020(令和2)年度の決算書等に基づき、  
2021(令和3)年12月時点で集計を行った結果をまとめたものである。

## 1. 適用、給付等の状況

表1 基金数、設立事業所数、加入員数

区 分	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)
基金数	110	36	10	8	5
代行型	7	1	0	0	0
(構成割合)	(6.4)	(2.8)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
加算型	103	35	10	8	5
(構成割合)	(93.6)	(97.2)	(100.0)	(100.0)	(100.0)
設立事業所数	21,571	7,720	1,750	1,530	490
(増減)	▲ 30,672	▲ 13,851	▲ 5,970	▲ 220	▲ 1,040
加入員数(千人)	1,401	571	173	158	126
(増減)	▲ 1,138	▲ 830	▲ 398	▲ 15	▲ 31
男	876	334	107	94	75
女	525	238	66	64	51

表2 平均標準給与

(円)

区 分	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)
報酬月額	333,890	332,475	336,446	336,656	349,566
男	376,341	379,201	387,010	391,214	408,468
女	263,057	266,877	253,965	255,656	262,769
賞与(月平均)	77,240	82,753	95,789	98,581	106,137
男	90,210	97,731	111,326	116,281	125,517
女	55,601	61,726	70,443	72,304	77,579

表3 年金給付等の状況

(1) 年金の受給者数

(人)

区 分	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)
総数	855,040	363,928	144,897	137,707	101,124
代行型	85,151	6,494	0	0	0
加算型	769,889	357,434	144,897	137,707	101,124

(2) 年金月額、一時金額

(円)

区 分	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)
平均年金月額	50,180	61,189	82,448	83,779	97,637
代行	38,552	42,334	49,563	49,108	57,519
上乘せ部分	11,628	18,855	32,884	34,671	40,118
平均選択一時金額	1,683,170	2,241,575	3,102,440	3,347,387	2,998,278
平均脱退一時金額	198,606	206,285	303,452	318,315	330,188
平均遺族一時金額	1,469,248	1,818,704	3,292,814	3,327,241	3,379,499

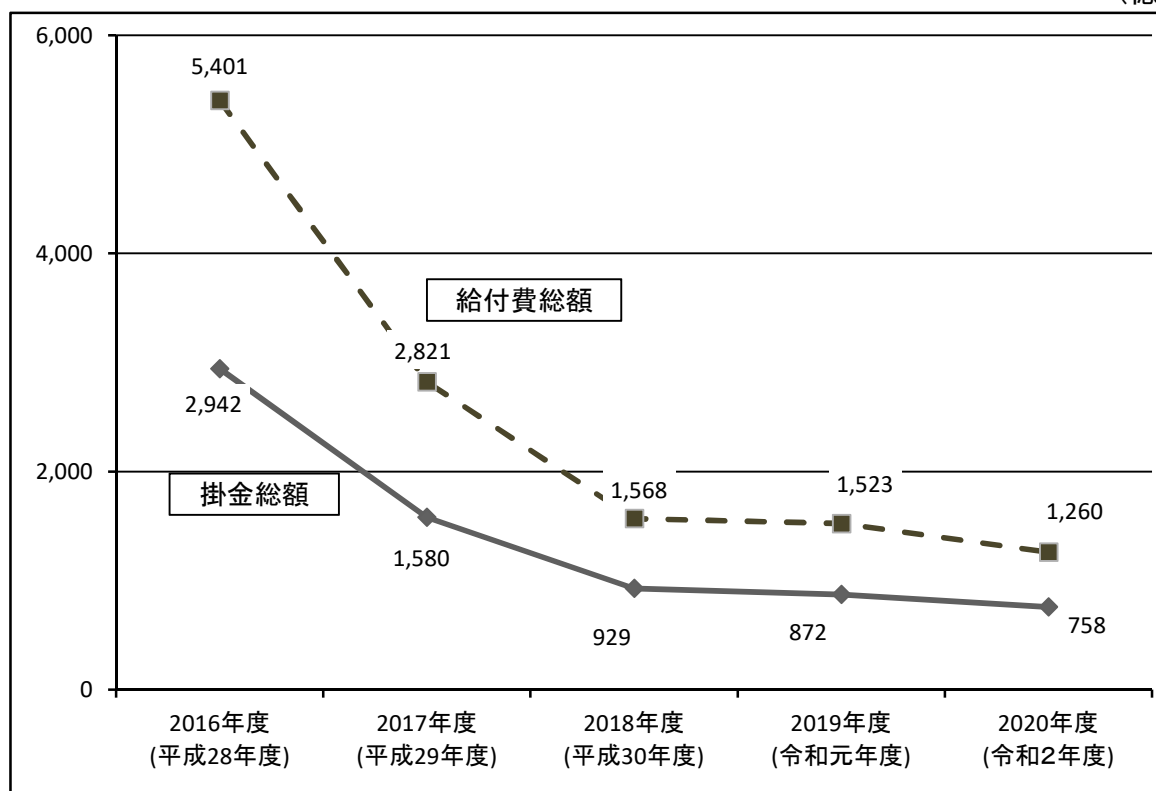
(3) 掛金総額、給付費総額

(億円)

区 分	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)
基金数 (再掲)	110	36	10	8	5
掛金総額	2,942	1,580	929	872	758
給付費総額	5,401	2,821	1,568	1,523	1,260
年金給付	4,993	2,579	1,374	1,342	1,141
一時金給付	408	242	195	181	120

(参考) 掛金総額と給付費総額の推移

(億円)

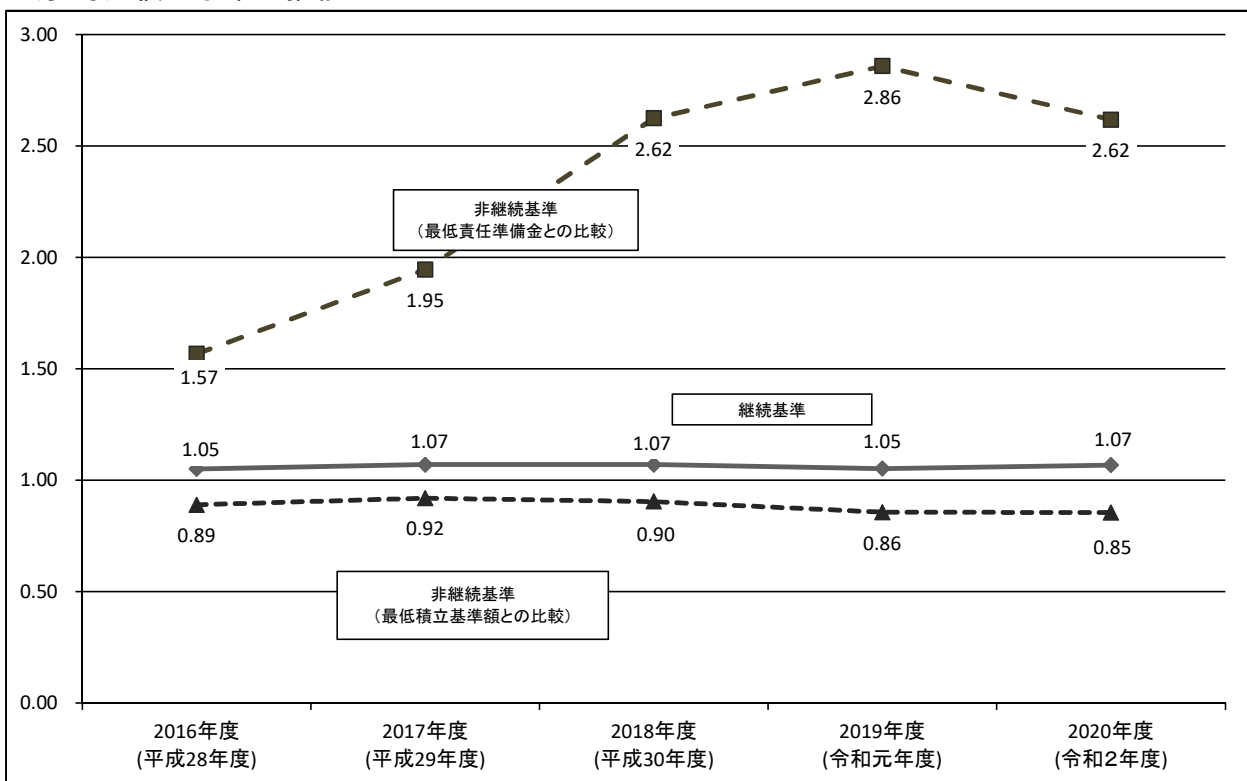


## 2. 積立の状況

表4 総括表

区 分	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)
基金数	110	36	10	8	5
純資産額 (①)	8.4兆円	4.5兆円	2.3兆円	2.1兆円	1.9兆円
責任準備金 (②)	8.0兆円	4.2兆円	2.1兆円	2.0兆円	1.8兆円
積立水準 (①/②)	1.05	1.07	1.07	1.05	1.07
最低責任準備金 (③) (※1)	5.4兆円	2.3兆円	0.9兆円	0.7兆円	0.7兆円
積立水準 (①/③)	1.57	1.95	2.62	2.86	2.62
最低積立基準額 (④) (※2)	9.5兆円	4.9兆円	2.5兆円	2.4兆円	2.2兆円
積立水準 (①/④)	0.89	0.92	0.90	0.86	0.85

(参考) 積立水準の推移



(※1) 「最低責任準備金」とは、代行部分（厚生年金の給付の一部を代行する部分）の給付に必要な額であり、現時点で解散する場合に最低限保有していなければならない額のこと。

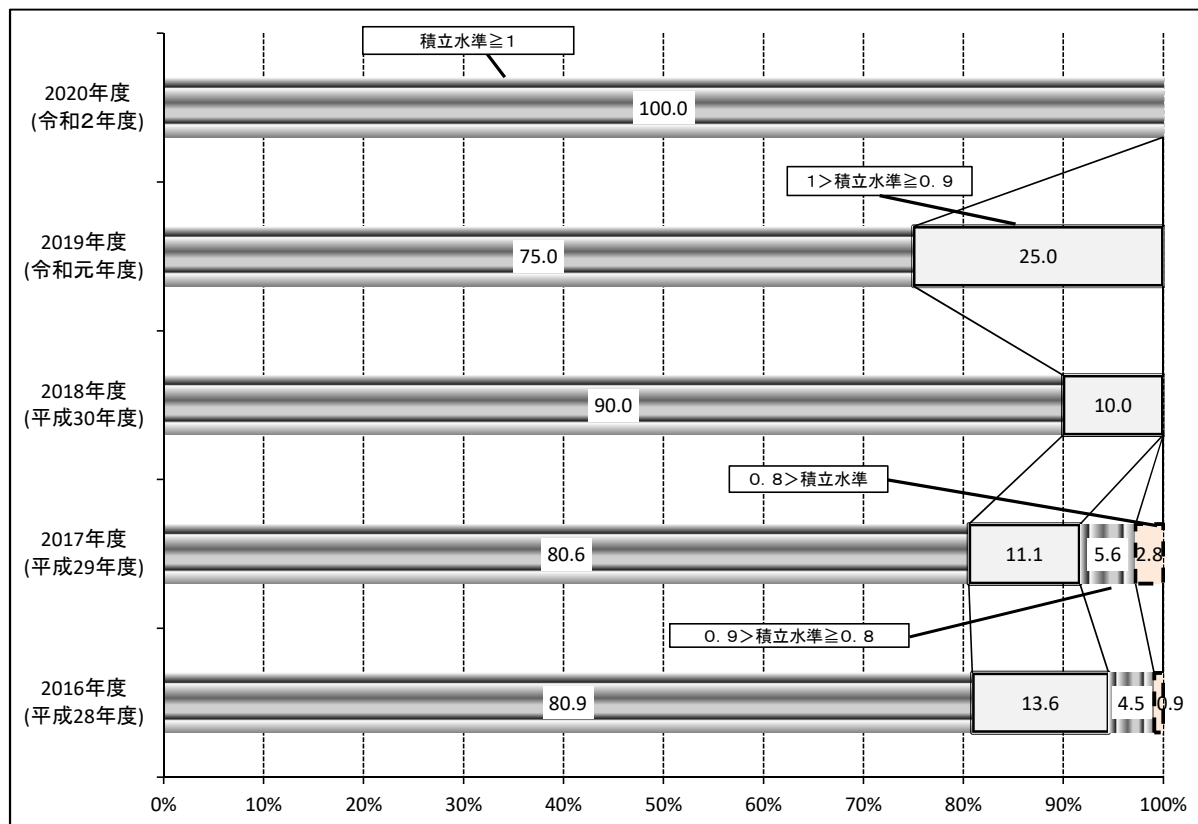
(※2) 「最低積立基準額」とは、最低責任準備金に現時点までの加入員期間の上乗せ給付を保証するために必要な額を加えた額のこと。

表5 積立の状況

(1) 継続基準

区 分	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)
純資産額が責任準備金以上である基金 (①)	89	29	9	6	5
純資産額が責任準備金未満である基金 (②)	21	7	1	2	0
純資産額が責任準備金の90%以上であるもの	15	4	1	2	0
純資産額が責任準備金の80%以上90%未満であるもの	5	2	0	0	0
純資産額が責任準備金の80%未満であるもの	1	1	0	0	0
上記①の基金の剰余額 (合計)	4,787億円	3,202億円	1,488億円	1,038億円	1,209億円
上記②の基金の不足額 (合計)	730億円	248億円	10億円	5億円	0億円

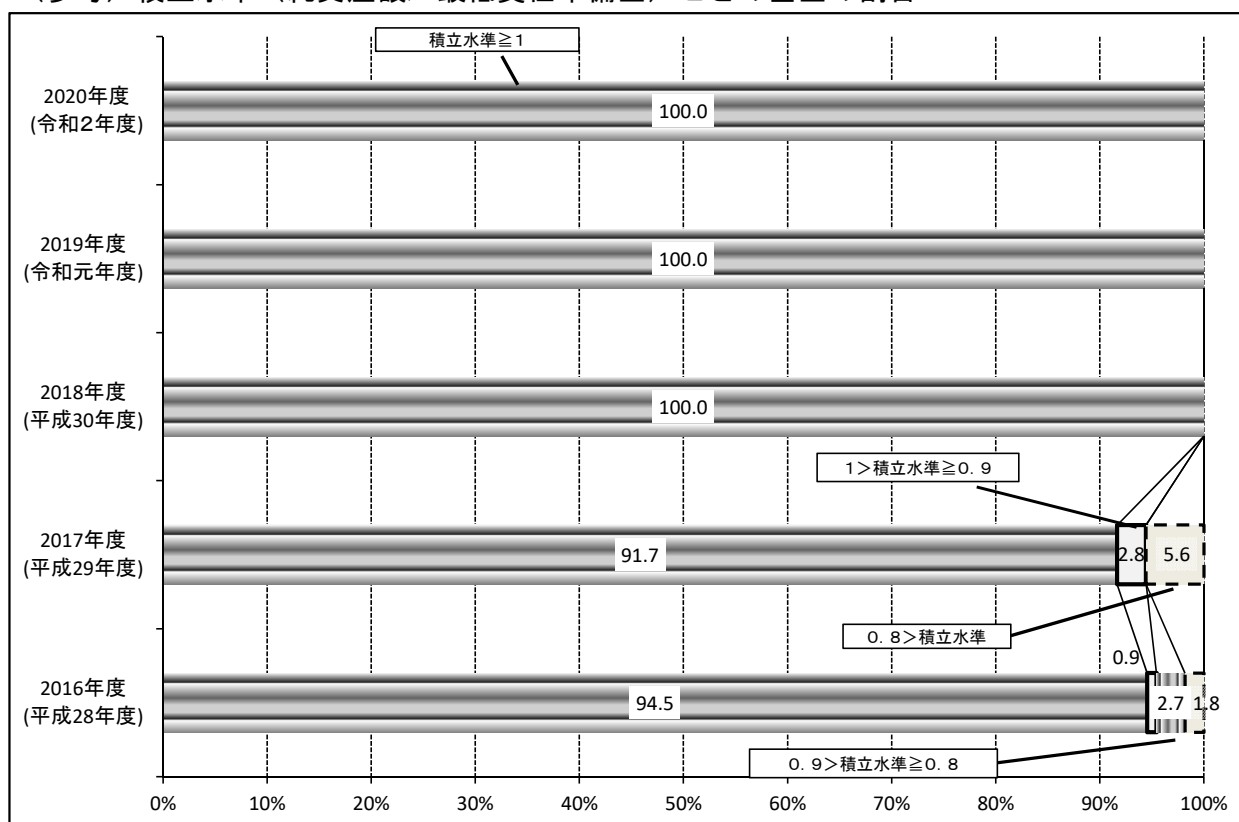
(参考) 積立水準 (純資産額/責任準備金) ごとの基金の割合



(2) 非継続基準（最低責任準備金との比較）

区 分	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)
純資産額が最低責任準備金以上である基金 (①)	104	33	10	8	5
純資産額が最低責任準備金未満である基金 (②)	6	3	0	0	0
純資産額が最低責任準備金の90%以上であるもの	1	1	0	0	0
純資産額が最低責任準備金の80%以上90%未満であるもの	3	0	0	0	0
純資産額が最低責任準備金の80%未満であるもの	2	2	0	0	0
上記①の基金の剰余額 (合計)	3兆0,849億円	2兆2,000億円	1兆4,018億円	1兆3,594億円	1兆1,808億円
上記②の基金の不足額 (合計)	285億円	176億円	0億円	0億円	0億円

(参考) 積立水準（純資産額／最低責任準備金）ごとの基金の割合



(3) 非継続基準（最低積立基準額との比較）

区 分	2016年度 (平成28年度)	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)
純資産額が最低積立基準額以上である基金 (①)	32	12	2	1	1
純資産額が最低積立基準額未満である基金 (②)	78	24	8	7	4
純資産額が最低積立基準額の90%以上であるもの	28	11	3	2	0
純資産額が最低積立基準額の80%以上90%未満であるもの	30	9	4	3	4
純資産額が最低積立基準額の80%未満であるもの	20	4	1	2	0
上記①の基金の剰余額 (合計)	811億円	571億円	26億円	2億円	68億円
上記②の基金の不足額 (合計)	1兆1,386億円	4,512億円	2,433億円	3,519億円	3,312億円

(参考) 積立水準（純資産額／最低積立基準額）ごとの基金の割合

